

袴田さん再審無罪

静岡新聞

〒422-8033
静岡市駿河区登呂3-1-1
静岡新聞社
電話(054)282-1111

©静岡新聞社2024

浜松総局 浜松市中央区旭町11-1
プレスタワー内
電話(053)455-3355

東部総局 沼津市魚町1
サンフロント内
電話(055)962-0380

号外



袴田さんの再審で無罪判決を受け喜ぶ支援者ら=26日午後2時3分、静岡市葵区



袴田さん

事件から58年 静岡地裁判決

捜査機関の証拠捏造認める

控訴焦点

現在の静岡市清水区で1966年、みそ製造会社の専務一家4人を殺害したとして死刑が確定した袴田さん(88)の再審判決公判で、静岡地裁(国井恒志裁判長)は26日、無罪を言い渡した。捜査機関による証拠の捏造(ねつそう)があったと認めた。死刑事件の再審無罪は89年の「島田事件」以来5件目で、検察が控訴するかが焦点となる。

袴田さんは裁判では一貫して無罪を訴えたが、80年に死刑が確定した。姉ひで子さん(91)が申し立てた第2次再審請求審で静岡地裁は2014年、再審開始を決めた。袴田さんは47年7カ月ぶりに釈放された。

差し戻し後の即時抗告審で東京高裁は23年3月、検察の即時抗告を棄却。検察が特別抗告を断念し、再審開始が確定した。同年10月に静岡地裁で再審公判が始まり、検察は24年5月の第15回公判で死刑を求刑。弁護団は無罪を求めている。

静岡新聞のお申し込みは
0120(89)4311
スマホでニュース
いつでもどこでも
定期購読者
専用アプリ

「袴田事件」と国内・世界の出来事

～昭和～

1966年(昭和41年)

- 6月29日・ザ・ビートルズ初来日
- 30日・旧清水市(静岡市清水区)のみそ製造会社の専務方から出火し、一家4人の遺体が見つかる



- 8月18日・県警が強盗殺人などの容疑で従業員の袴田巖さん(当時30)を逮捕
- 9月9日・静岡地検が強盗殺人などの罪で袴田さんを起訴
- 11月15日・静岡地裁初公判で袴田さんが全面否認し、無罪を主張



67年(昭和42年)

- 8月31日・事件現場近くのみそタンクで血染めの「5点の衣類」が見つかる

68年(昭和43年)

- 9月11日・静岡地裁が死刑判決
- 12月10日・3億円事件発生

72年(昭和47年)

- 5月15日・沖縄が日本に返還される

73年(昭和48年)

- 第1次オイルショック

74年(昭和49年)

- 7月7日・七夕豪雨

76年(昭和51年)

- 5月18日・東京高裁が控訴棄却



80年(昭和55年)

- 7月19日・モスクワ五輪開幕、日本は不参加
- 11月19日・最高裁が上告棄却、死刑が確定

81年(昭和56年)

- 4月20日・静岡地裁に再審請求(第1次)

～平成～

94年(平成6年)

- 8月9日・静岡地裁が請求棄却

95年(平成7年)

- 1月17日・阪神大震災
- 3月20日・地下鉄サリン事件



98年(平成10年)

- 2月7日・長野五輪開幕

2001年(平成13年)

- 9月11日・米同時多発テロ

02年(平成14年)

- 5月31日・サッカー日韓W杯開幕

04年(平成16年)

- 8月26日・東京高裁が即時抗告棄却

08年(平成20年)

- 3月24日・最高裁が特別抗告棄却
- 4月25日・静岡地裁に再審請求(第2次)



11年(平成23年)

- 3月11日・東日本大震災

14年(平成26年)

- 3月27日・静岡地裁が再審開始と死刑・拘置の執行停止を決定。袴田さんが47年7カ月ぶりに釈放される



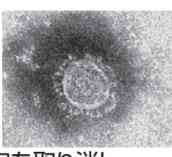
- 31日・静岡地検が東京高裁に即時抗告

18年(平成30年)

- 6月11日・東京高裁が静岡地裁決定を取り消し、再審請求を棄却。死刑・拘置の執行停止は維持



- 18日・弁護団が最高裁に特別抗告



～令和～

20年(令和2年)

- 4月7日・新型コロナウイルスが感染拡大、初の緊急事態宣言

21年(令和3年)

- 7月3日・熱海市伊豆山で大規模土石流が発生



- 23日・東京五輪開幕

22年(令和4年)

- 7月8日・安倍晋三元首相が銃撃され死亡

23年(令和5年)

- 3月13日・東京高裁が再審開始を認める決定



- 3月20日・東京高検が特別抗告断念。再審開始が確定する

24年(令和6年)

- 10月27日・静岡地裁で再審初公判。袴田さんの姉ひで子さんが無実を主張



- 5月22日・第15回公判で検察は死刑を求刑。弁護団は無罪判決を求めて結審

- 9月26日・静岡地裁が無罪判決



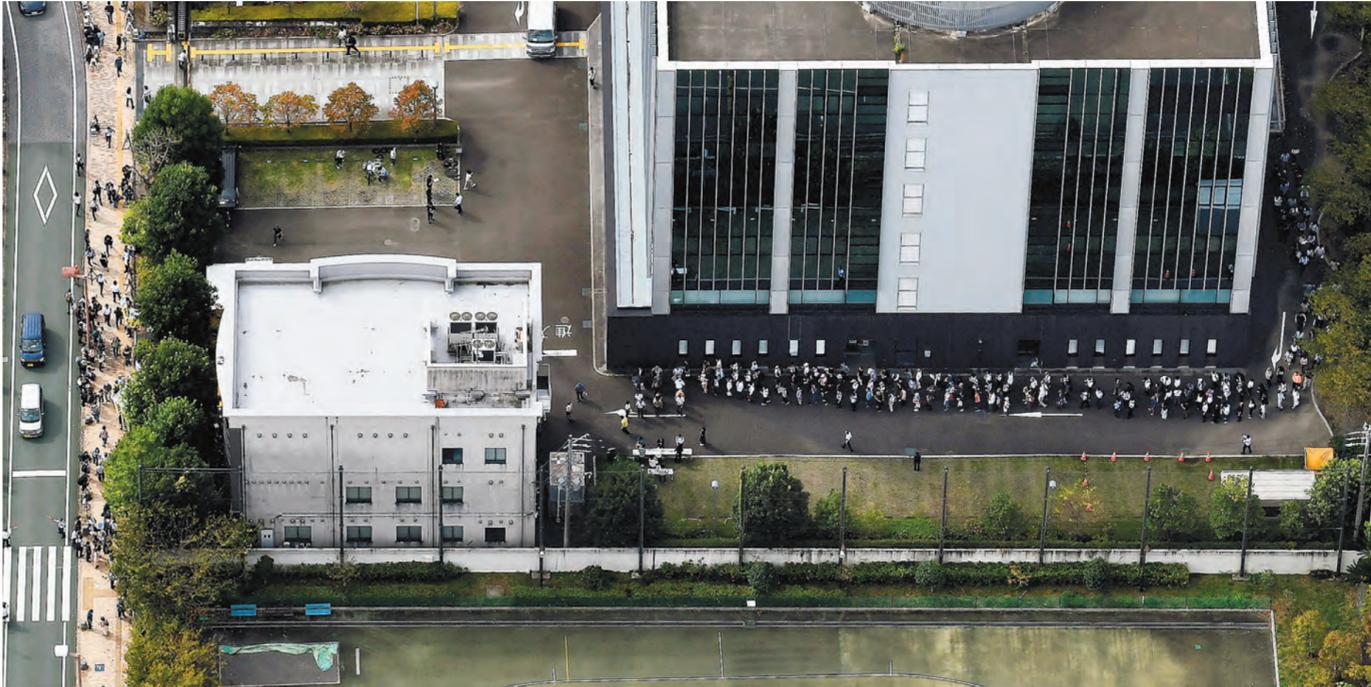
再審判決公判の朝を迎えた袴田巖さん=26日午前、浜松市中央区の自宅(袴田さん支援クラブ提供)

「袴田事件」現在の静岡市清水区で1966年6月30日未明、みそ製造会社の専務=当時(41)=方から出火し、ほぼ全焼した。焼け跡から専務一家4人の遺体が見つかり、県警は同8月、強盗殺人・放火容疑などで住み込み従業員の袴田巖さんを逮捕した。袴田さんは勾留期間中に「自白」したが、同11月の初公判で無罪を訴えた。80年に最高裁で死刑が確定した。袴田さんの姉ひで子さんが2008年4月に第2次再審請求を申し立てた。静岡地裁は14年3月、再審開始を認めるとともに死刑と拘置の執行停止を決め、袴田さんを釈放。検察が即時抗告したが、東京高裁が23年3月に退けた。地裁決定も高裁決定も捜査機関による証拠捏造(ねつぞう)の疑いや可能性を指摘した。再審公判は同年10月、静岡地裁で始まった。犯行着衣とされた「5点の衣類」の一部などが法廷で展示され、取り調べ録音テープが再生される場面もあった。

求を申し立てた。静岡地裁は14年3月、再審開始を認めるとともに死刑と拘置の執行停止を決め、袴田さんを釈放。検察が即時抗告したが、東京高裁が23年3月に退けた。地裁決定も高裁決定も捜査機関による証拠捏造(ねつぞう)の疑いや可能性を指摘した。再審公判は同年10月、静岡地裁で始まった。犯行着衣とされた「5点の衣類」の一部などが法廷で展示され、取り調べ録音テープが再生される場面もあった。



袴田巖さんの再審判決公判で静岡地裁に入る姉のひで子さん(右から3人目)=26日午後、静岡市葵区



傍聴整理券を求めて列を作る傍聴希望者(右)=26日午前、静岡地裁(本社ヘリ「ジェリコ1号」から)